

2016年度 前期	リフレクションペーパー
-----------	-------------

学科名	建築・デザイン学科						
科目名	建築設備の計画						
科目区分	専門科目	単位数	2	開講時期	前期		
必修・選択の別	選択必修						
担当者	堀英祐						
授業の到達目標 (シラバスから)	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備の計画手法と設計手法を理解し、説明できる。 ・建物の快適室内環境を実現するための応用技術を理解し、説明できる。 						
日程と内容	第1回 導入講義：授業の進め方と概要の説明、成績評価法 第2回 空調設備の計画 第3回 冷暖房負荷計算 第4回 空気線図と空気調和プロセス 第5回 空気調和機器 第6回 冷温熱源機器 第7回 熱搬送機器、ポンプ、送風機 第8回 配管設備の計画と設計 第9回 配管の抵抗、ポンプの揚程 第10回 ダクト設備の計画と設計 第11回 ダクトの抵抗、送風機の静圧 第12回 換気設備、排煙設備 第13回 省エネルギー空調システム 第14回 蓄熱空調システム 第15回 地域冷暖房システム 定期試験						
成績評価基準	定期試験	70%	実技	0%			
	臨時試験	0%	部外評価	0%			
	報告書・レポート	0%	プレゼンテーション	0%			
	課題	0%					
	演習	30%	計	100%			
授業到達目標の達成度	<ul style="list-style-type: none"> ・建築設備の計画手法と設計手法を理解し、説明できる。←達成した ・建物の快適室内環境を実現するための応用技術を理解し、説明できる。←達成した 						
反省点	この科目は、講義授業であり、教科書の内容に即したスライドを準備して進めている。また、演習問題を準備し、理解度を高める工夫をしている。しかし、空調の負荷計算やポンプの揚程計算など、実際に演習問題を解くことで理解度が深まる内容も多く含まれているが、授業時間内では十分な演習の時間が取れなかった。						
来年度の計画	演習問題を課題として取り組ませることなどを検討する。						
授業評価アンケートに対するコメント	授業で扱う内容の難しさもあると思われるが、説明のわかりやすさなどで評価点が低かったので、今後はより丁寧な説明を心がけたい。						
履修登録者数	43名	定期試験 受験者数	43名	合格者数	42名	合格率	98%